

## ●10月中に竹蛇籠 4m もので 27 本完成

10月30日（土）に2.5mほどに作った半分の竹蛇籠を2本ずつ合体して、目標としていた4mの竹蛇籠27本を完成しました。これは3基分の中聖牛に必要な竹蛇籠全部となります。この仕事を午前中に完成しました。作業日は28日間で延べ人数113名 408時間を要しました。

今後の竹蛇籠製作は8mのもの、9本の完成を目指します。



## ●中聖牛 2 基の骨格を完成

30日の午後と11月1日にかけて、先週に解体した中聖牛の骨格作りに取り組みました。里山の会の軽トラックに付けたウィンチ（クレーン）を有効に使って、有田、森島、播川、大釜、太田さんの5人で骨格だけ組み上げました。先週解体した1基目はとてもスムーズに、かつ綺麗に作り上がりました。2基目は1基目に苦労した棟木に前立て木が十分に入りきらずに苦労しました。前立て木を棟木に挿入する部分を少しだけチェーンソーで削って棟木に挿入しましたが、削る部分が少し短かったようで十分に入りきらず、結果的には棟木から上に出る部分が少し短くなりました。（その分、前立て木の下部の地面を少し掘って立ち上げました。）3基目はまだできていませんが、1、2基の経験を生かしてうまくいくものと思っています。11月2日（月）の作業は雨で中止となりました。

## ●今後の予定

7日（土）午前：中聖牛の組み立て

午後：13:00～14:00 同志社生と竹蛇籠作り 14:00～15:00 同志社生、竹蛇籠の設置場所を見学

8日（日）竹門先生が応援を連れてくださるので、中聖牛作り。（中聖牛組み立て講習会）NHKも取材

21、22日（土、日） 竹門先生と竹蛇籠作り（竹蛇籠製作講習会）

12月5、6日（土、日） 中聖牛を設置場所に運搬、設置。（竹蛇籠設置・竣工式）

6日に原小組が日帰りで来られる。

## ●京田辺市文化祭が10月31日（土）11月1日（日）に開催されました

里山の展示コーナーは大村さん伊藤さん金田さんが担当をしました。展示部門は田辺中央体育館で参加団体は18団体、例年のように開催されましたが新型コロナウイルス拡大防止の為チェックシ

ートに名前、検温、マスク着用、体調等を記入した上で提出、アルコールで手の消毒をしてからの入場です。

体育館回りのテントによる色々なものの販売は中止、植木販売の緑化祭りや子供さん向けのパフォーマンスも中止で例年に比べて寂しいものでした。

里山のコーナーではイタセンパラ冊子の拡大したもの、「イタセンパラってどんな魚」「絶滅の原因はなに」「ワンド・タマリの棲みやすい環境づくり」「中聖牛・蛇籠に関すること」「木津川の主な魚の種類」木津川堤防の絶滅寸前種（植物）」等展示のほかに、ススキ・オギ・セイバンモロコシ・セイタカヨシを張り付け、台の上に大村さんが大きなサルノコシカケを置きドングリ、カラスウリなど、花瓶にはフジバカマすすき等秋の雰囲気です飾り付けました。二日間で来客は70人内50人がパンフレットを持ち帰られました。イタセンパラや蛇籠などに関する質問も何人かありました。



### ●農園報告

前回も報告しましたが、現在もイノシシに各箇所が荒らされています。それでもアズキが2.1キロ収穫できました。秋野菜の間引き菜など、第2、第4日曜日田辺団地の朝市で販売しています。

### ●会誌49号

リハビリで入院中の山村さんが会誌原稿を整理されています。ほとんど出来上がっているようです。

近いうち発行したいと思っています。